

# 電気通信事業部会・接続委員会 合同ヒアリング

2011年2月22日

ソフトバンク株式会社

代表取締役社長

孫 正義



**日本再生の鍵**

**II**

**IT立国**

# IT立国の前提条件

2015年頃  
「光の道」完成

# 加入光ファイバ接続料



# 「光の道」実現を左右

**3年前の結論**

**分岐接続先送り**

# 分岐接続先送りの結果

(万件)

1500

1000

500

0

2001 2002 2003 2004 2005 2006 2007 2008 2009 2010

**NTT**  
シェア75%



**A社**  
B社  
C社  
D社

2008年

2011年

NTTシェア



72%



75%

独占拡大

料金



4100円



4100円

高止まり

普及率



28%



36%

伸び悩み

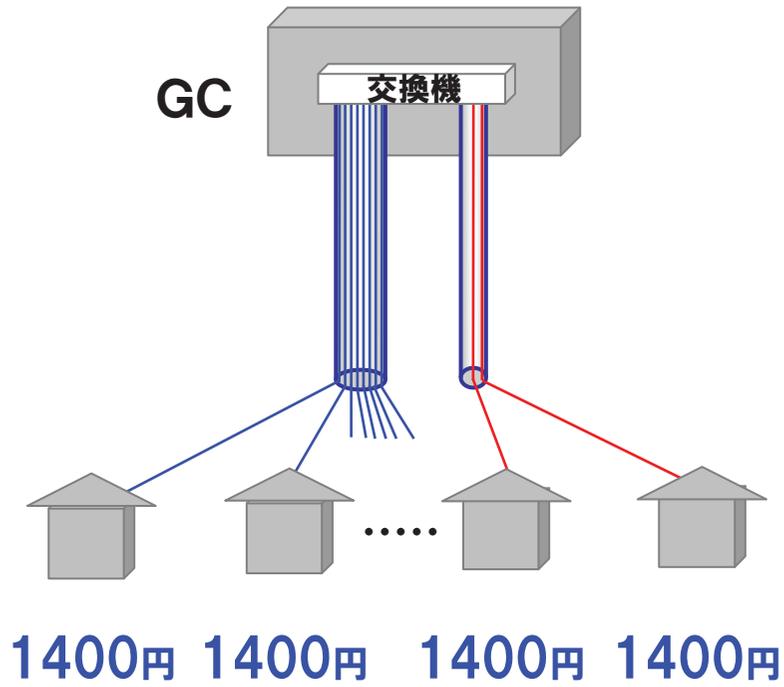
※ 総務省及びNTT東西公表資料より当社作成

# 基本理念

— 加入当たり  
コストの均一化

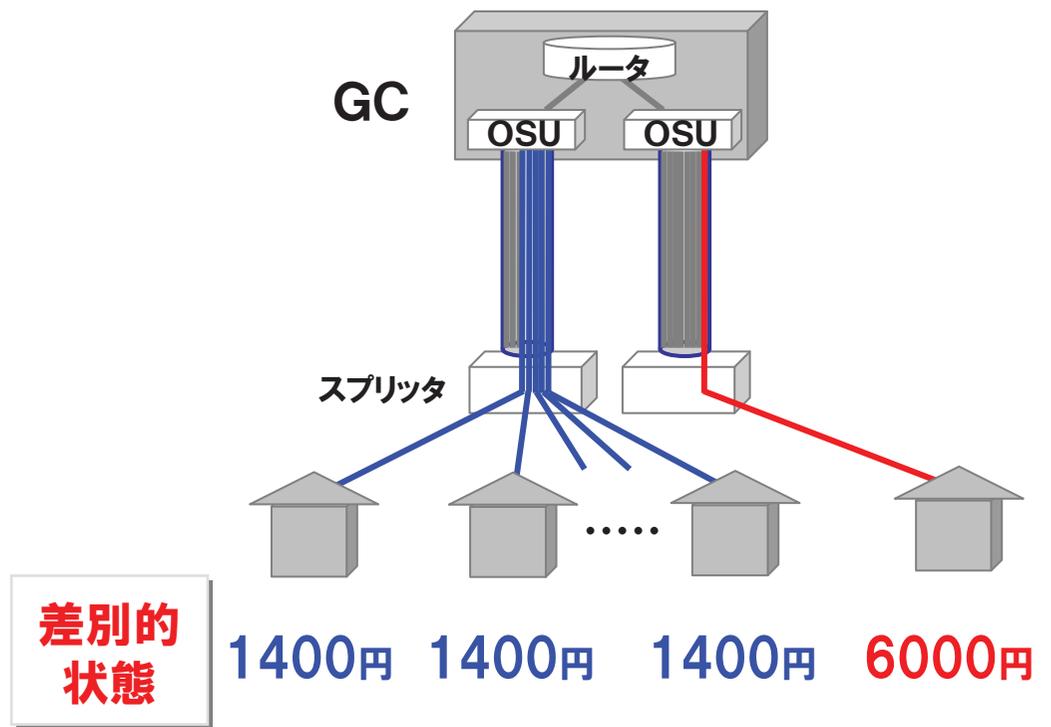
# 光でも基本理念を継承すべき

## メタル



公平

## 光



公平

1400円 1400円 1400円 1400円

8枚セットだけ  
だとしたら・・・

郵便



全国一律料金



少量しか使わない人は  
負担大

負担は均一であるべき

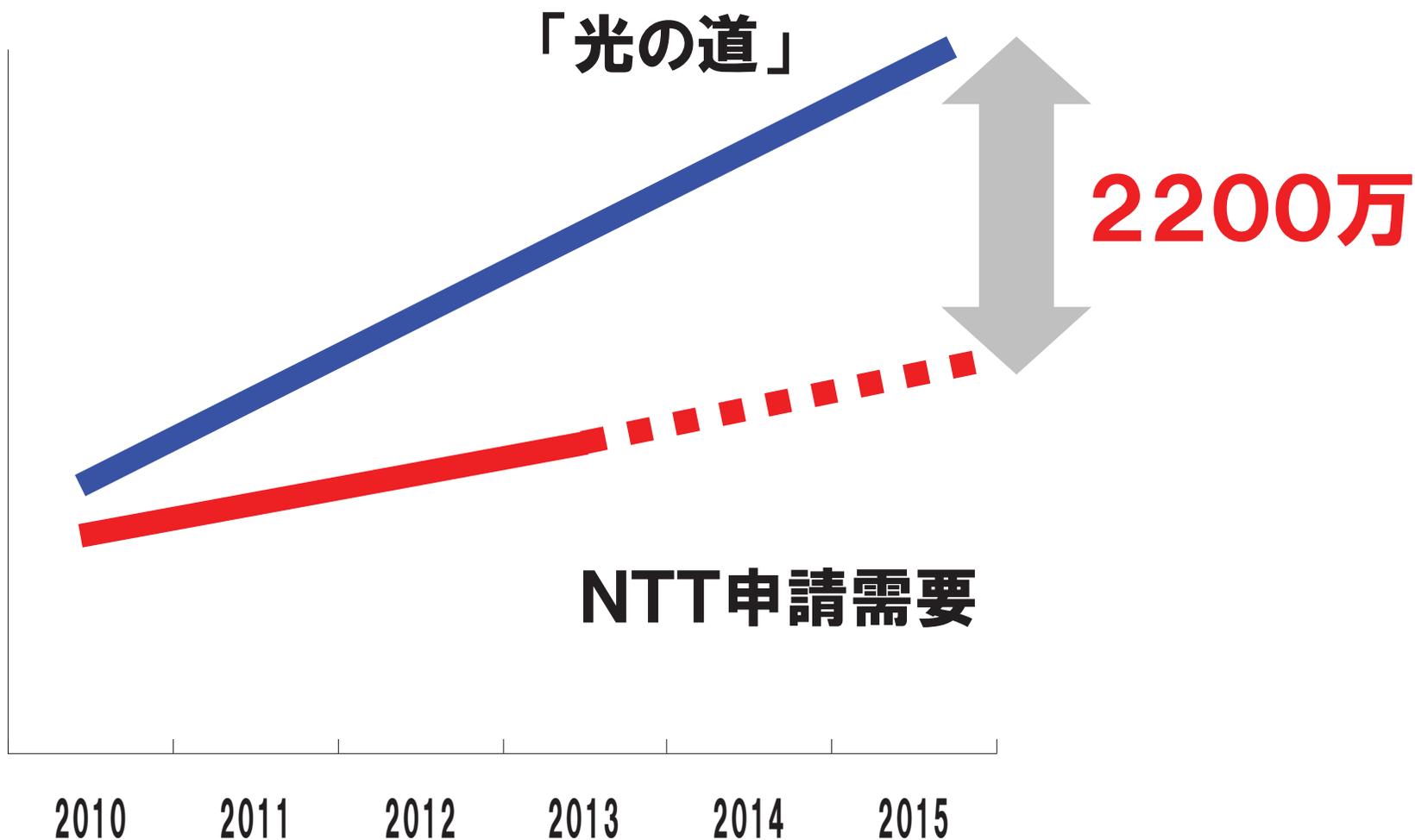
# 目標

— 加入当たり  
1400円

# 「光の道」と大きく乖離

(万回線)

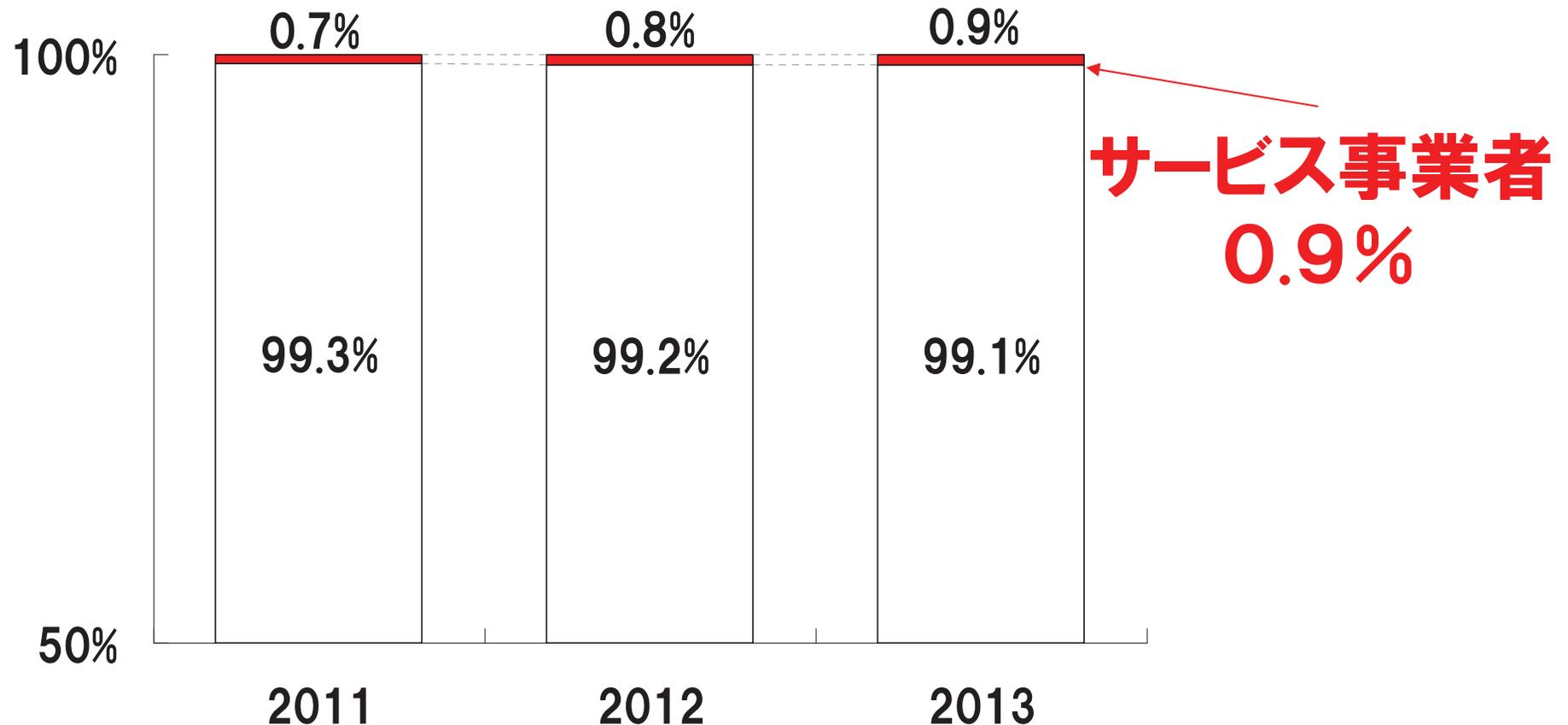
5000



※ H23年度以降の光ファイバ接続料 NTT東西申請概要より当社作成

# サービス事業者の需要が過少

【NTT申請需要】



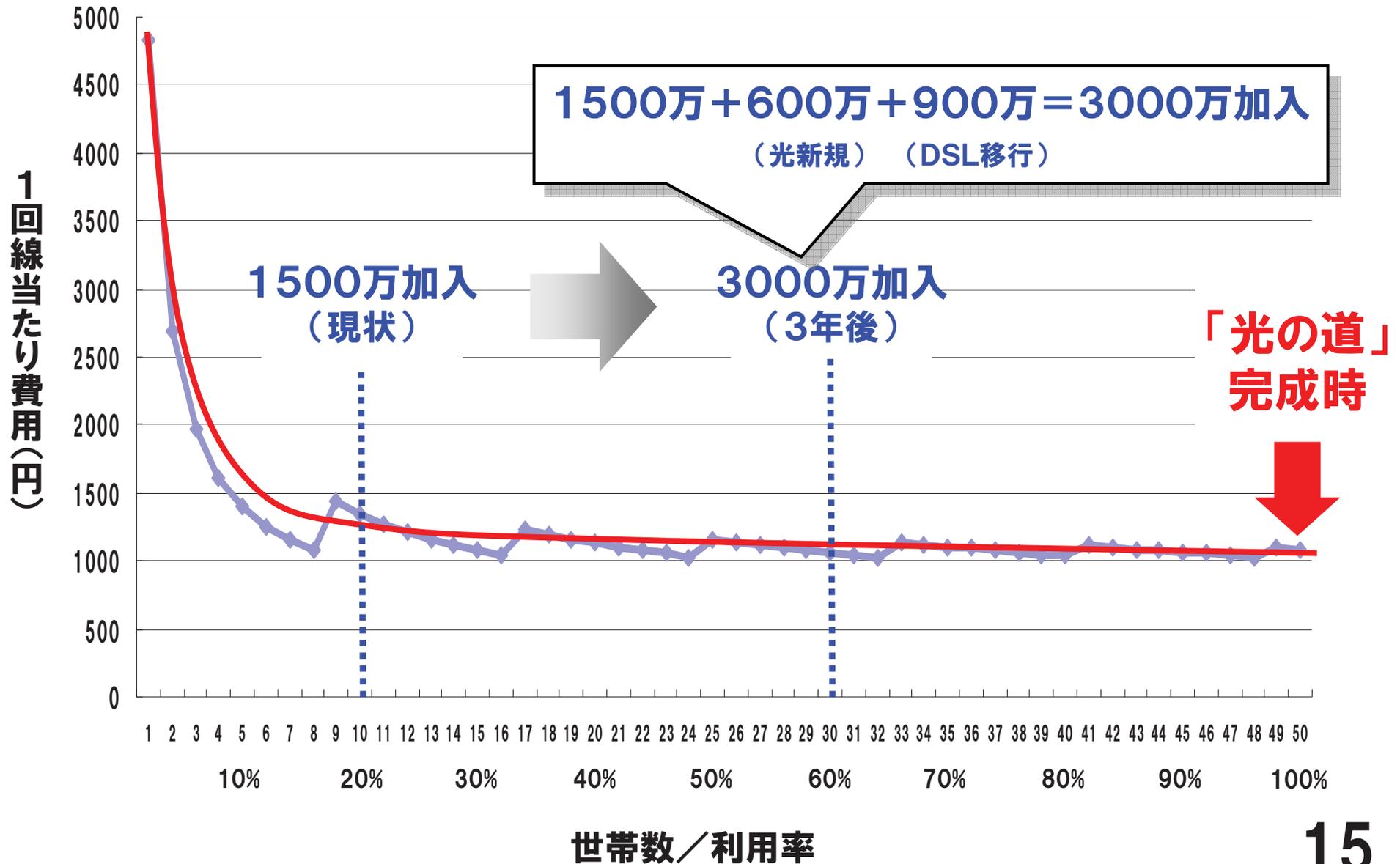
※ 接続事業者の需要は、シェアアクセス稼働芯線数×NTT1芯当たり契約数として推計

**独占前提の申請は問題**

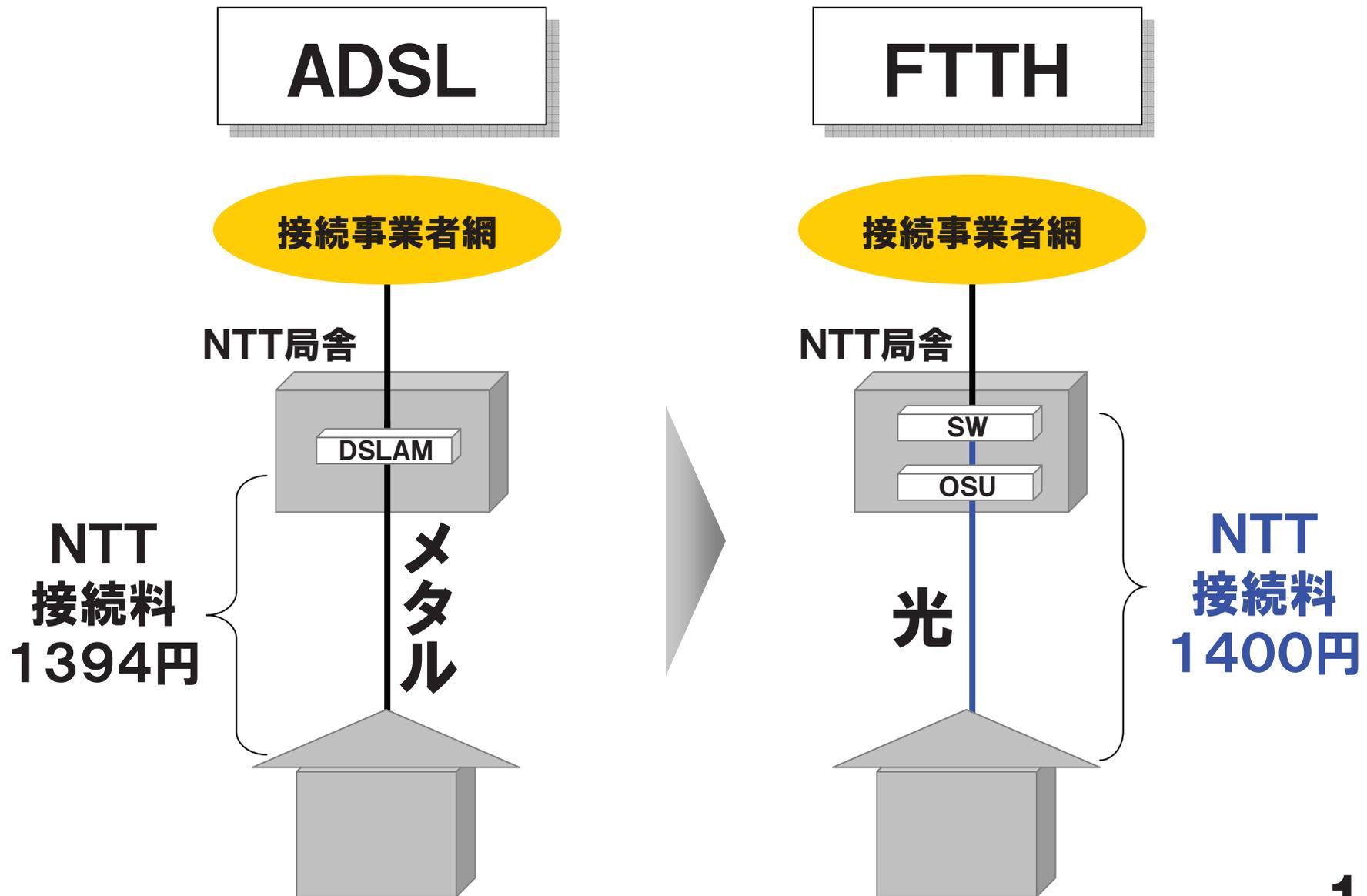
# 3年後の光利用 3000万加入へ

**1500万 + 600万 + 900万 = 3000万加入**  
**(光現在) (光新規) (DSL移行) (3年後光利用)**

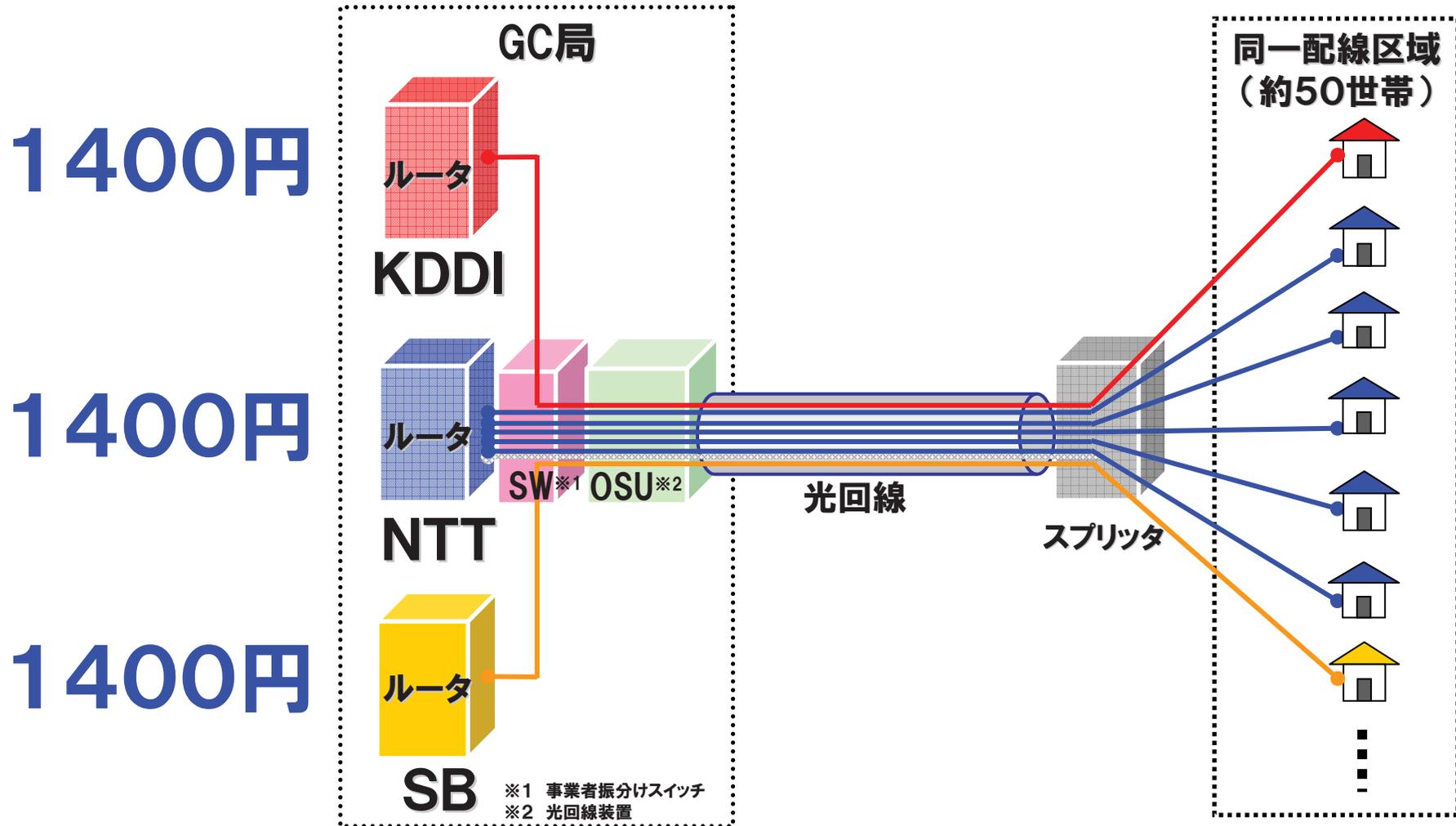
# 1400円は実現可能



# 1400円なら光への移行も加速



# 一加入コスト低廉化の具体策



※ 料金は、SWから光屋内配線まで

## オールジャパンでのOSU共用

# OSU共用の課題は全て解決可能

【NTT指摘】

【解決策】

技術面



実証実験済み

運用面・  
新サービス



NTTと同一ルール適用

投資リスク

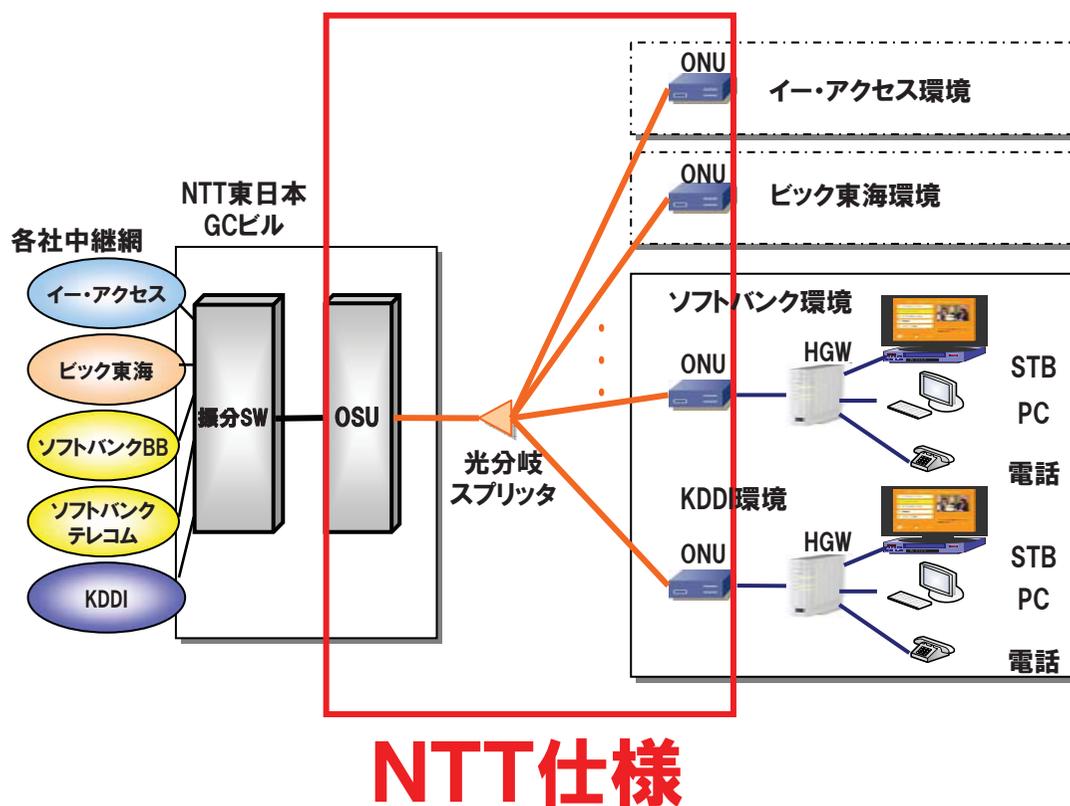


需要喚起による回収率向上

円滑なサービス提供に支障なし

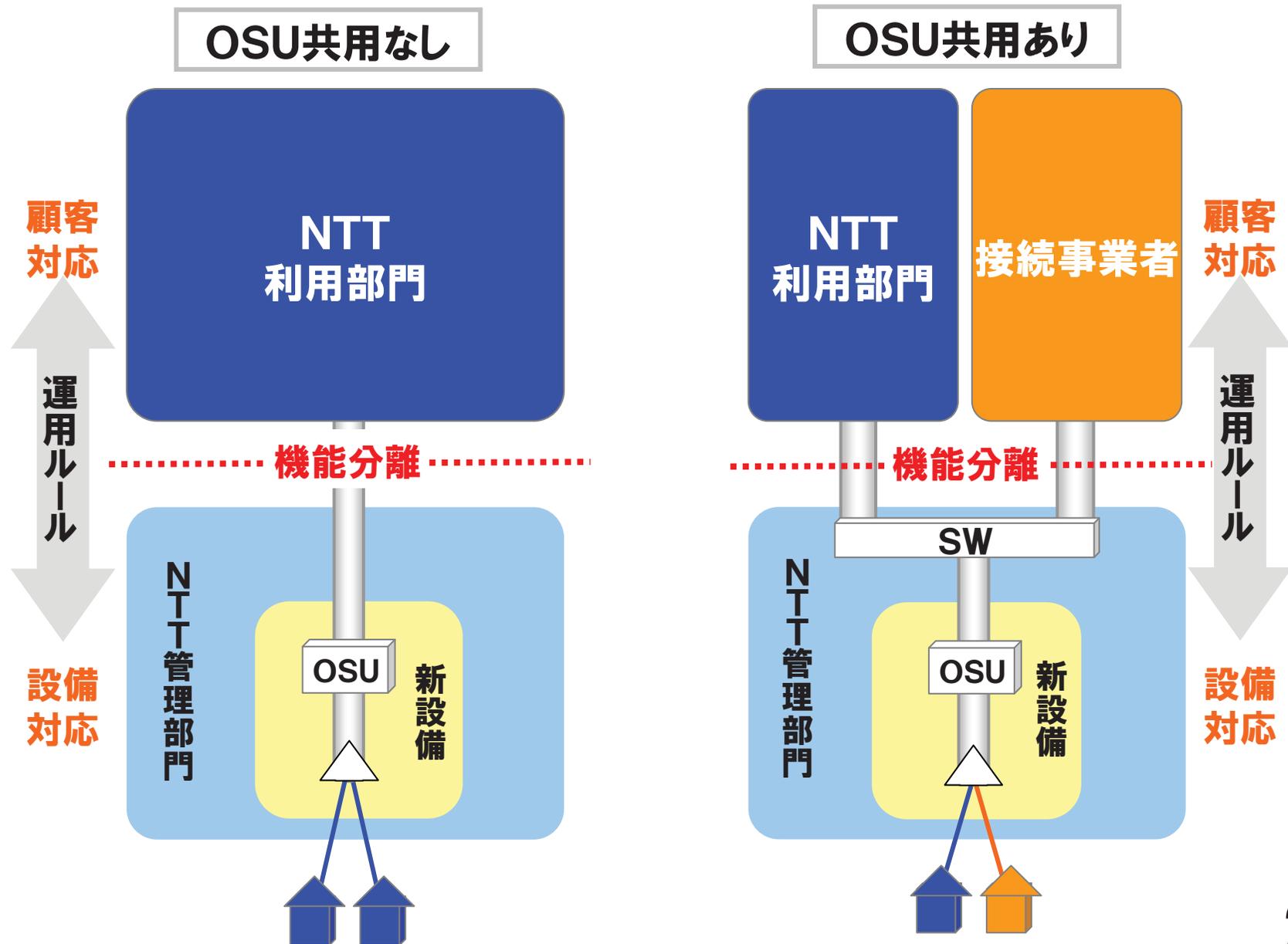
# 技術的課題はなし

## NTT設備で共同実験 (2010年3月10日結果発表)



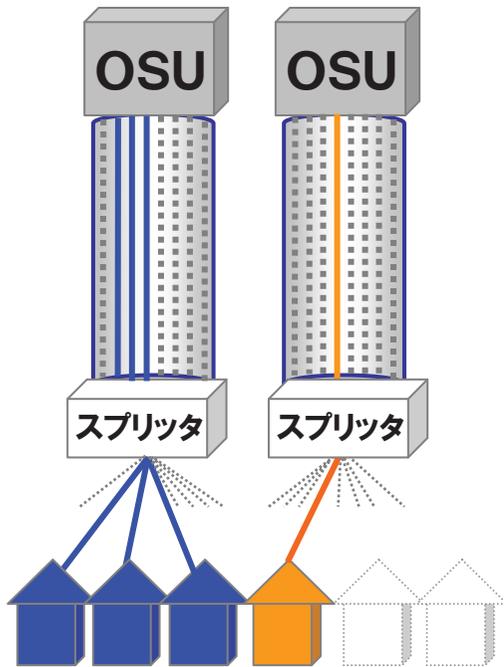
※ FTTHサービス市場におけるお客様利便性向上の実現に向けた取組みについて  
～複数事業者によるNTT仕様OSU共用の検証結果～  
([http://www.softbankbb.co.jp/ja/news/press/2010/20100310\\_01/index.html](http://www.softbankbb.co.jp/ja/news/press/2010/20100310_01/index.html))

# 機能分離なら同一ルールを適用するだけ



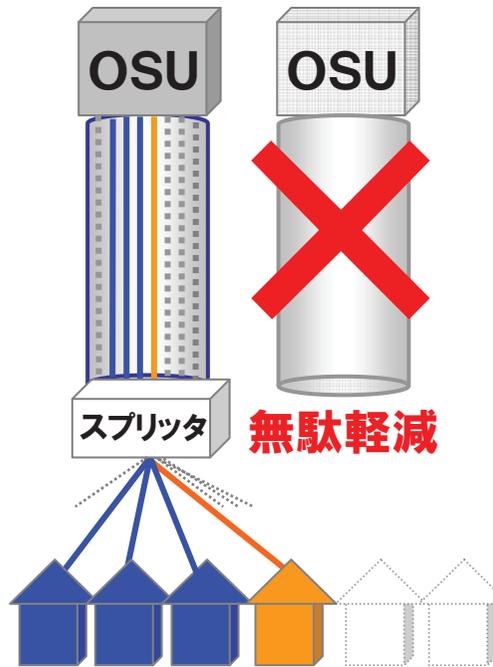
# 投資回収率は向上

現状



非効率

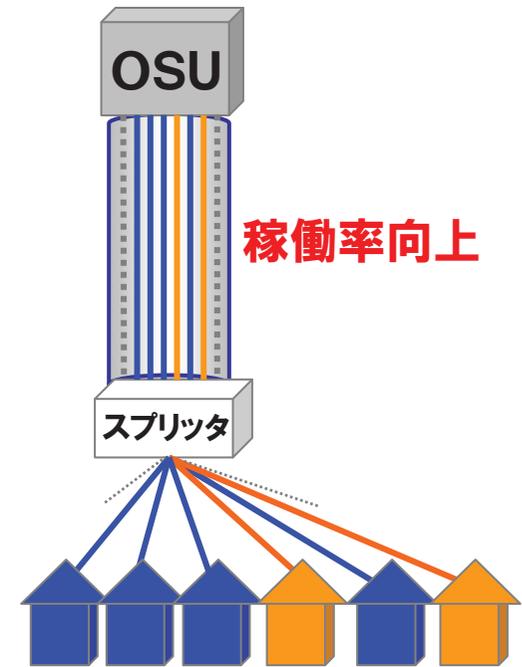
OSU共用



無駄軽減

コスト・料金  
低廉化

稼働率向上

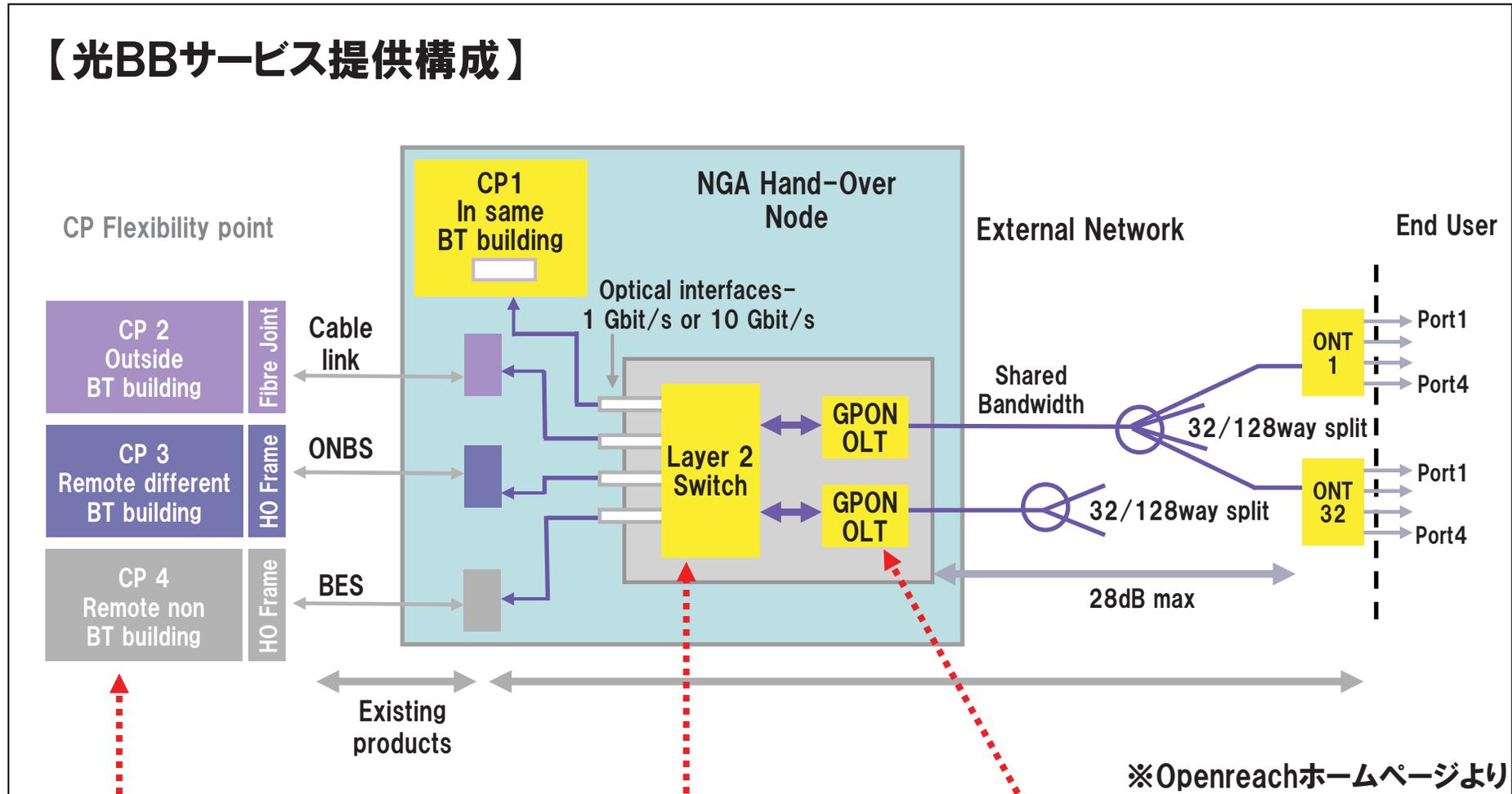


需要喚起

↓  
早期回収

# 機能分離の英国ではOSU共用を実施済

## 【光BBサービス提供構成】



複数事業者が接続

事業者振分けスイッチ

光回線装置  
(OSUと同等の設備)

# OSU共用は最低限必要

分離なし  
(現状)

機能分離

構造分離



OSU共用



まとめ貸し



OSU共用

# 分岐接続は設備事業者の経営を圧迫？

光をもっと、あなたのそばに。

  
K-OPTI.COM

## 主張

「**価格競争力が限界**にある中、(中略) 総じて**事業運営が困難となり倒産に追い込まれる**」※

## 提供サービス

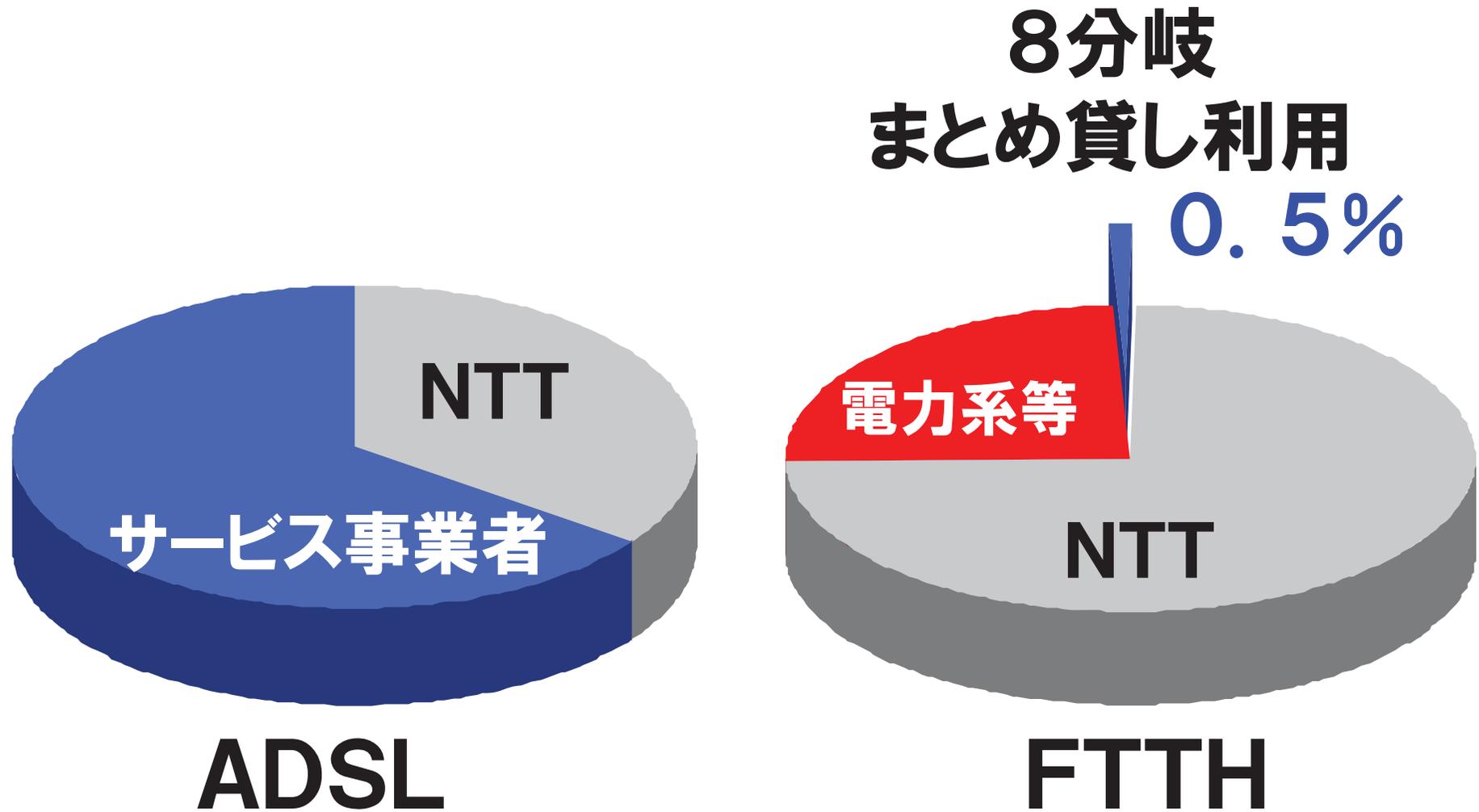


**EO光電話**

**1390円/月**

※「次世代ネットワークの接続ルールのあり方に関する提案募集」提案書(平成19年10月19日)

# まとめ貸しでサービス事業者の参入を実質阻害



**分岐接続  
なし**

**寡占**

**高止まり**

**一部地域**

**事業参入**

**料金**

**エリア**

**分岐接続  
あり**

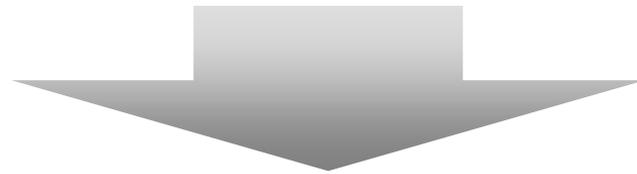
**促進**

**低廉化**

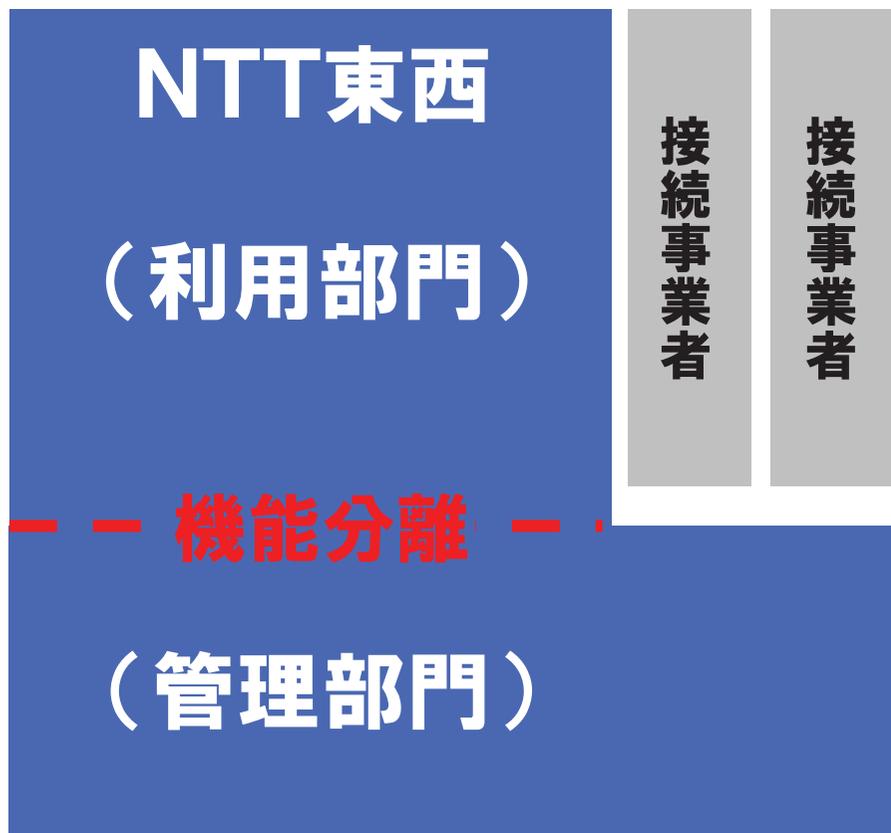
**稼働率向上で  
日本全国**



# タスクフォース結論

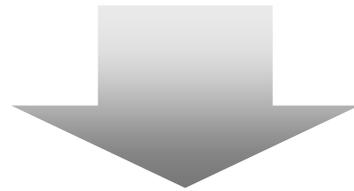


## 機能分離



**利用部門と  
接续事業者の  
同等性確保が必須**

# 事業法の目的 「公共の福祉の増進」



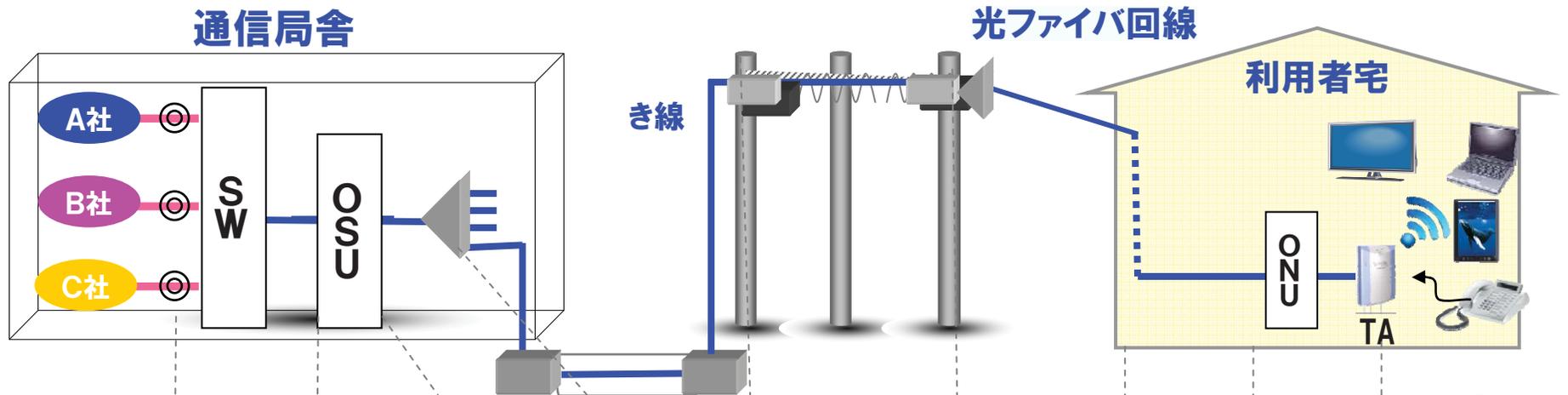
料金低廉化・サービスの多様化

# オールジャパンで 「光の道」実現

## (別添1)光接続料に関する当社意見

論点		意見
OSU共用による分岐端末回線単位での接続料設定		<ul style="list-style-type: none"> <li>• NTTを含めたOSU共用による分岐端末回線単位の接続料設定が必要</li> <li>• 利用部門と接続事業者で1ユーザ当たりコストを均等にすべき</li> </ul>
接続料算定に係る問題	(1) 算定方式及び期間	• 将来原価方式で算定期間は5年とすべき
	(2) 需要予測	• 「光の道」を達成する需要とすべき
	(3) 経済的耐用年数	• 光ファイバの耐用年数は30年以上とすべき
	(4) 減価償却方法	• 定額法を採用すべき
	(5) 算定根拠の情報不足	• 芯線数の算定根拠等を開示すべき
乖離額調整制度		• 将来原価方式において導入は認められない
NGNのGC接続アンバンドル		• GC接続アンバンドルは必要

## (別添2) 接続料水準試算結果

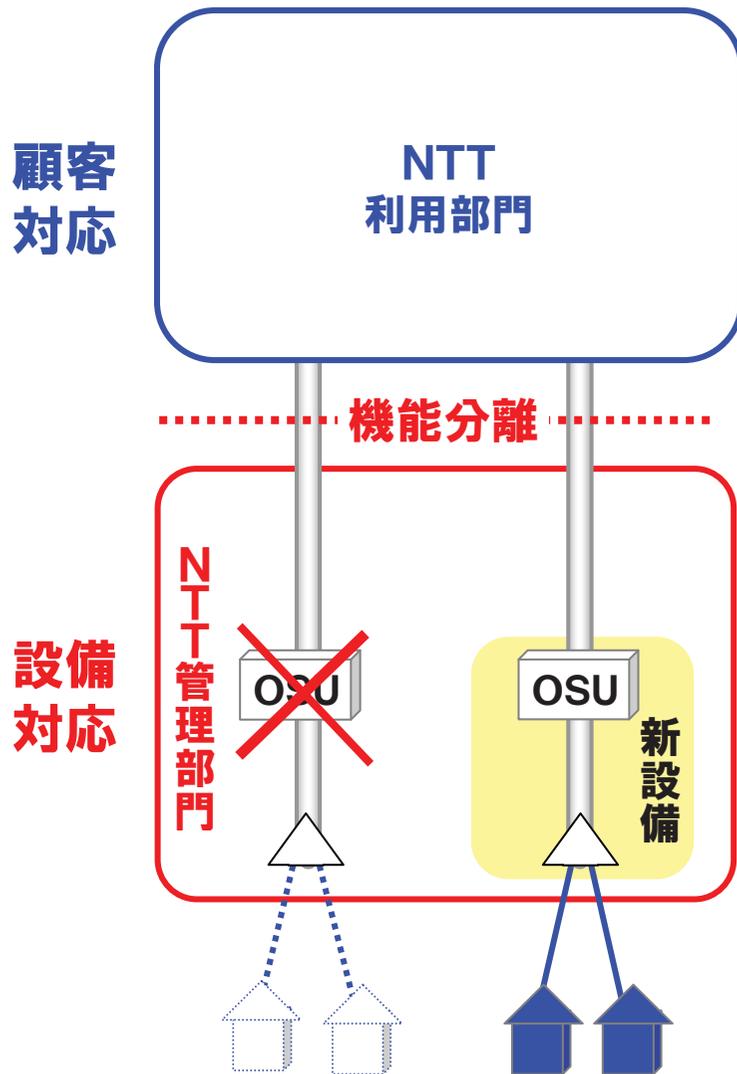


(単位：円)

	SW	OSU	局内 スプリッタ	光信号主端末回線 (局外スプリッタ含)	引込み線	光屋内 配線	光屋内 装置	合計
接続料単価	—	956	49	4,179	350	194	—	
1/8	521	956	49	4,179	350	194	33	6,282
2/8	260	478	24	2,090	350	194	33	3,429
3/8	174	319	16	1,393	350	194	33	2,479
4/8	130	239	12	1,045	350	194	33	2,003
5/8	104	191	10	836	350	194	33	1,718
6/8	87	159	8	697	350	194	33	1,528
7/8	74	137	7	597	350	194	33	1,392
8/8	65	120	6	522	350	194	33	1,290

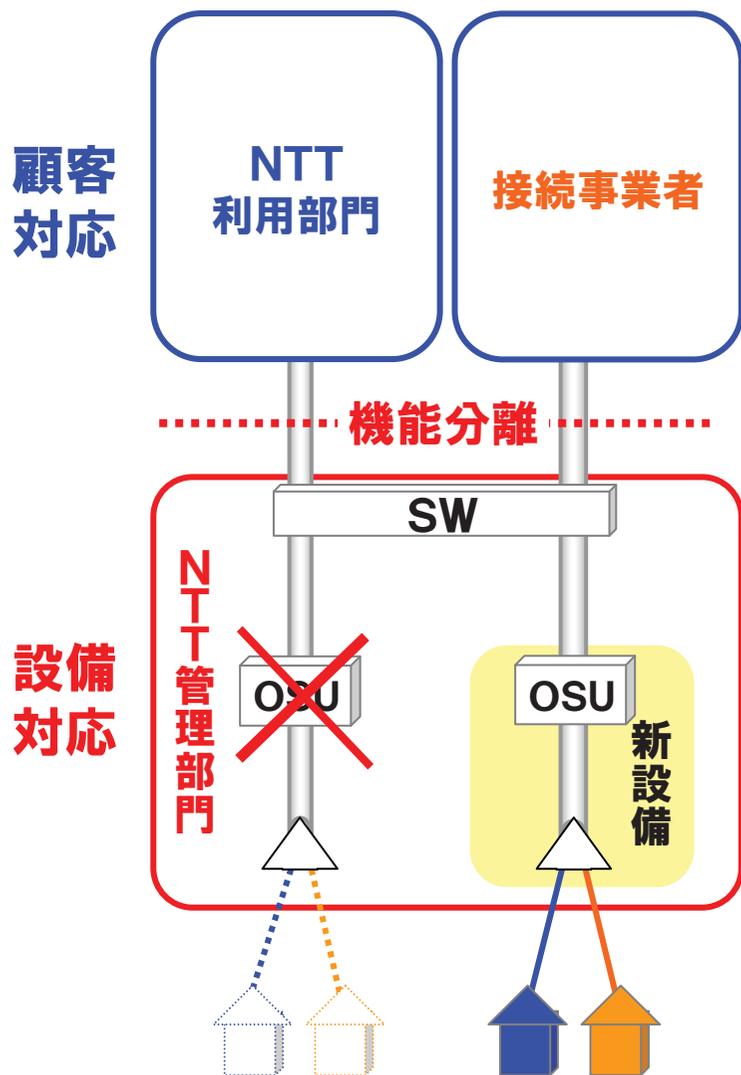
※ NTT東日本の現行接続料等より、当社試算

# (別添3-1) 機能分離における同一運用ルールへの適用①



1. 障害発生
2. 顧客⇒利用部門へ連絡
3. 利用部門⇒管理部門へ連絡
4. 管理部門で対応
5. 管理部門⇒利用部門へ連絡
6. 利用部門⇒顧客に連絡

## (別添3-2) 機能分離における同一運用ルールへの適用②



1. 障害発生
2. 顧客⇒利用部門・接続事業者へ連絡
3. 利用部門・接続事業者⇒管理部門へ連絡
4. 管理部門で対応
5. 管理部門⇒利用部門・接続事業者へ連絡
6. 利用部門・接続事業者⇒顧客に連絡

機能分離なら同一ルールを適用するだけ